

**「生殖医療サポーターの会 OKAYAMA」**  
**第6回ミーティング議事録**

日時：2007年10月18日（木） 19時～21時

場所：岡山大学病院 南病棟11階 カンファレンスルームD

参加者：10名

相澤亜紀, 江見 弥生, 大森幸子, 金子京子, 杉山喜代美,  
中村美佐子, 名越 由貴, 平田麗, 藤原和香子, 松村 年美,

**議事：**

**1. 連絡事項：**

・出張相談室の日時の予定

第3回 2008年1月19日（土）

第4回 2008年2月16日（土） 場所は、新見市・井原市を予定。

**2. 協議事項**

1. 出張相談室への参加者募集

2. 第3回「不妊・不育とこころの研修会」の日時、研修テーマの募集

3. 生殖医療サポーターの会 OKAYAMA 忘年会の日時について

（第1土曜日、第1～2週の火～金曜日は出来るだけ除きます。）

**研修プログラム** （当番：不妊・不育とこころの相談室）

**1. 各自からの話題提供**

・「不妊であることを話すことはかえって苦痛になりかねない（イギリスの報告）」

（Human Reproduction Vol.22 No.8 P2309-2317）

・カニクイザルの未熟な卵子を人間の女性から提供された羊膜の成分を使い体外成熟に成功。（北里大など）

・OG herb 製剤の効果、使用施設の情報募集（男性不妊に効果があると生殖医学会に抄録あり）

・聖路加国際病院生殖医療センターに「癌治療者のためのリプロダクション外来」が開設

・患者の満足度アンケート調査を実施しているが、他院のアンケート内容を教えて欲しい。

・原因不明不妊はARTにステップアップする前に腹腔鏡検査を（国立成育医療センター）

（Journal of Obstetric and Gynecology Research Vol.33 Issue5 P.665-670）

・小麦粉への葉酸添加で胎児の先天性異常が半減した（カナダ）

（New England Journal of Medicine 2007;357:135-45）

**2. 症例提示と Discussion**（名越産婦人科・不妊・不育とこころの相談室）

◎事例紹介1（名越産婦人科）

配布資料参照

◎事例紹介2（不妊・不育とこころの相談室）

配布資料参照

\*第3者配偶子を用いた生殖補助医療について

・生殖補助医療，というものは，あくまでもご夫婦，二人の間で行うものだと思う。

- ・誰にでも子を持ち、育てる権利がある。その望みを叶えてあげたい、とも思う。
- ・「精子」「卵子」は子どもを作るための「もの」や「道具」ではない。なければ、もらえば良いという単純な事ではないと思う。
- ・AID で出産し子育てしているとても良い家庭もあるが、全ての家庭がそのように行くとはい限らない。
- ・自分の子育ての経験から、「血のつながり」があるから我慢できた、やってこれた事がたくさんある。それが、「血のつながり」がなければ、その時の現状と自分との血のつながりを一緒にして物事を考えてしまう可能性があると思う。
- ・同じ女性として「産みたい」という気持ちも分かるが、第3者配偶子を用いると、夫婦関係、家族関係がこじれる可能性がある。
- ・AID で生まれた方の話をきくと、自分と血のつながりのある親を知りたい、と悩む方は多い。親としては、子どもが幸せになることが自分にとっての幸せにもつながり、子どもが悩むなら、それを見守る親が幸せになれるとは思えない。
- ・養子縁組で家庭に入った方が「本当の親に育ててもらっていないので、自分の子どもの育て方が分からない」と自分が家庭を持つようになって悩んでいる、と聞いた事がある。第3者配偶子を用いた生殖補助医療でも、同じような問題が出てくるのではないかな？
- ・生まれてくる子どもの視点、というのも考えてほしい、と思う。
- ・現段階での「子どもを授かりたい」という思いだけでなく、今後起こりうること、次世代のことも考える必要があると思う。
- ・子どもを産み育てる事は本当に素晴らしい事だと思うが、良いことばかりではなく、大変なことだってある。提供による精子もしくは卵子によって生まれてきたとしても、それらを全て受け入れる覚悟が必要だと思う。それを考える上でも、今後起こりうることを現実の問題として考えていく必要がある。
- ・今は、技術的に可能だから、という事で第3者配偶子を用いた生殖補助医療が進んで行きそうだが、今後、これらを進めていく中で、カウンセラーやソーシャルワーカーなど、サポート体制が整えていけば、また第3者配偶子を用いた生殖補助医療に対する考えは違ってくるかもしれない。

今回は、皆さんのお考えや、それを裏付けているものごとをお聞かせいただき、活発な Discussion となりました。今回得た事を踏まえ、今後の活動に役立てていきたいと思えます。御協力ありがとうございました。

(当番班：不妊・不育とこころの相談室 相澤亜紀 江見弥生)

#### ◎次回の会の予定

2007年11月15日(木) 19時～

場所:岡山大学病院 南病棟 11F カンファレンスルームD

当番班:岡山二人クリニック

今回の会には学会出張のため出席できず申し訳ありませんでした。

今週も秋田の生殖医学会参加中です。

聖路加国際病院生殖医療センターに「癌治療者のためのリプロダクション外来」からは、本学会でも報告がありました。

原因不明不妊はART にステップアップする前に腹腔鏡検査を(国立成育医療センター) (Journal of Obstetric and Gynecology Research Vol.33 Issue5 P.665-670) に関しては、本日の教育講演でも、ART と腹腔鏡下手術のハイブリッド療法に関しての話がありました。

皆様、ご多忙のことかとは思いますが、波はあっても継続することが力になると思います。今後とも、生殖医療

サポーターの会 OKAYAMA の活動を続けていければと思います.

2007 年 10 月 26 日

生殖医療サポーターの会 OKAYAMA 事務局  
岡山県不妊専門相談センター  
中塚幹也